（様式第２号）

保　証　提　案　書

１　応募者に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 住所 |  |
| 商号又は名称 |  |
| 代表者職・氏名 |  |
| 家賃債務保証業者登録番号 |  |

２　入居者の負担に関する事項

（□の項目については該当する項目を選択してください。）

|  |  |
| --- | --- |
| 緊急連絡先の徴取 | □徴収する　　　　　　□徴取しない□徴取するが免除可能　□法人等で代替可 |
| 保証料 | □ ① 一括制（初回保証料のみ徴収）□ ② 更新制（初回保証料、継続保証料）□ ③ 分割制（初回保証料のみ徴収）□ ④ 分割制（初回保証料、継続保証料のいずれか又は両方）※①～④については複数選択可④の場合は「補足内容」へ対象となる保証料についての説明を記載 |
| 初回保証料 |  |
| 継続保証料 | （上記「保証料」で②、④を選択した場合） |
| その他手数料等 | （上記以外の手数料等の設定がある場合は、内容について記載） |
| 補足内容 |  |

※　初回保証料及び継続保証料については、「袋井市営住宅等の家賃債務保証業者募集要領」（以下「要領」という。）４の保証委託契約に対する費用について記載してください。

　　　なお、残置物撤去の費用等とは別に、上記に加えオプションを付す場合は、「補足内容」の欄に、保証料の保証範囲、オプション内容、および保証料に上乗せされる料金についての補足説明を記載してください。

３　保証に関する事項

（１）基本内容

|  |  |
| --- | --- |
| 保証のタイプ | □滞納報告型 |
| 保証限度額 | （２で記載した保証料で家賃12月以上の保証が可能な場合はその月数を記載してください。） |
| 保証範囲 | （２で記載した保証料において、要領６(2)の保証範囲以外の保証項目があれば記載してください。） |

（２）市営住宅の入居者等は低所得者であるとともに、要配慮者（生活保護、高齢者、障害者、外国人等）も多いことから、家賃債務保証を行うにあたり、基本的な考え方を記述してください。

（３）審査について

ア　要領１(３)の入居スケジュールを踏まえ、入居者等が家賃債務保証に係る申込みをした場合、契約可否決定（審査）に要する日数や保証料を支払うタイミング、入居者の手元に保証契約書が届くまでの日数を含め、手続きの流れを詳細に記載してください（日数は営業日数とし、申込方法、市側の作業等がある場合には、記載してください。）。

なお、入居書類提出期限までに市が審査・契約状況について把握する方法等があれば記載してください。

イ　入居者等の審査について、どのような項目を主に審査するかなど、審査内容について具体的に記載してください。

（４）業務実施体制について記載してください（苦情・相談受付体制を含む）。

＜業務実施体制の記載例＞

（５）保証料が更新制の場合、更新保証料が滞納となった場合の対応の流れについて具体的に記載してください。

（６）保証債務の弁済について、請求期限（支払期日到来後何日以内か）、請求方法、市への納付手段について具体的に記載してください。

（７）求償権の行使について、契約者から代位弁済した家賃の支払いがない場合の対応フローについて記載してください。また、訪問や電話の時間帯や債権回収の方法、分納相談、福祉制度の紹介等、工夫している点があれば具体的に記載してください。

（８）単身入居者が死亡又は行方不明になった場合の対応の流れや、その際の代位弁済の適応範囲について具体的に記載してください。

４　その他プライバシーポリシーの策定・公表、事業者内部の責任体制の整備、従業者に対する教育研修、個人情報保護に関する措置状況等について具体的に記載してください。

※　スペースが不足する場合は、適宜追加してください。